

令和7年度 自己評価及び学校関係者評価書

2	1	0	0	8
---	---	---	---	---

令和8年3月16日

札幌市立幌南小学校

1 本年度の重点目標

多様な個性を認め、高め合う学校を目指し、土台（根）を広げて ～ひとり・ひとりを大切に～

2 本年度の経営方針

5つの土台（根）を広げる

(①豊かな心の育成、②学ぶ力の育成、③健やかな体の育成、④教職員の資質向上、⑤社会に開かれた信頼される学校)

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
目指す子ども	なりたい自分や目標に向かい、自分なりに考えてやってみたり工夫したりしている。	B	目標（なりたい姿）を設定し、頑張った成果や成長を実感したり、日常生活でさらに挑戦する試みにつなげたりする関わりを充実させる。	A	A
	学校生活の中で、満足感や達成感を感じる場面があり、自己肯定感が高まっている。	B	毎月自分で生活や学習の目標を立てたり、振り返ったりするカードを活用するとともに、月1回の全校一斉の各学級で振り返る時間をとることでPDCAサイクルを子ども自身が意識できるようにする。	A	A
学校関係者評価委員による意見		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの育ちを認め、自信をもって子どもへの指導に取り組んでほしい。 ・子ども同士が認め合い、互いに支え成長する学校風土を今後も続けてほしい。 			

豊かな心	先生や友達に明るくあいさつをしている。	B	全学年で「自分から」「明るい声で」を共通の目標とし、全校での道徳学習や異学年での挨拶運動の取組を充実させることにより、「自分から」あいさつの輪を広げるようにする。	A	A
	異学年の活動では、他の学年と仲良く活動している。	B	異学年が関わるよさや有用感、達成感が十分感じられるよう活動を工夫するとともに異学年交流のよさを実感できるように全校で共通の認識のもとに事前・事後指導の充実を図る。	A	A
	けがや事故のないように、安全に気を付けて生活している。	B	具体的な場面やそこに潜む危険の予知を考えさせる関わりや、委員会活動等と連動させ、子ども自身が決まりやテーマの理由を考え広め合う教育活動を行う。	A	A
学ぶ力	学習したことが分かり、習ったことを活用している。	A	「理解」と「活用」を意識した授業改善を行うとともに、基礎基本の着実な習得を図り、学んだことを家庭学習（自学）につなげたり、興味や関心を広げたりする学習の充実を図る。	A	A
	見通しをもって粘り強く学習に取り組んでいる。	B	教師が子どもの伴走役としての役割を意識し、最後まで取り組む大切さを実感できるように根気強く関わったり、見通しをもつ活動を意図的に位置付け子どもが安心して学習に取り組める環境づくりに努める。	A	A
健やかな体	日常的に体を動かす機会が増えている。	B	校内に子どもが思わず体を動かしたくなるような環境整備のさらなる充実を図る。全校遊びの日や元気アップ週間などの重点週間を設定して体を動かすことへの動機付けを行う。	A	A
	日々の学校生活を元気に過ごしている。（心身の健康・体づくりなどの観点から）	A	日課にある「わたしタイム」を深化させ、子どもの心と体の調子を毎日把握できるようにし、個の悩みに応じた対応がとれる体制を整える。	A	A
	学校いじめ基本方針に基づいた取組が適切に行われている。	A	校内独自のアンケートを複数回定期的に行い、子どもの心の変化を適切に捉え、校内で組織的にいじめや悩みの対応がとれる体制を更に構築する。	A	A
学校関係者評価委員による意見		<ul style="list-style-type: none"> ・教え・伝えあう異学年の交流（子しんじゅ）を中核に据えることが楽しみ。 ・学習の確実な定着にも今まで同様に力を入れて進めてほしい。 ・SNSなどのネットリテラシーにも今まで以上に力に取り組んでほしい。 			